

もりのかぜTM Vol.16



いおろすくん

森を感じる情報誌——Green Page Akita

いおろす (Aeolus) はギリシア神話に登場する「風の神」であり、豊かな森と妖精を合わせたイメージとして生まれたこの冊子のキャラクターです。

緑の募金で
ふせごう地球温暖化



公益社団法人 秋田県緑化推進委員会

〈CONTENTS〉特集●大平山(姫神山) 森の恵みを生かす／2 緑育REPORT／4 地域と森林レポート／6
GREEN PAGE AKITA／8 Photographこの一枚／10 あきた・緑化の足跡／11 インフォメーション／12

特集

大平山 (姫神山)

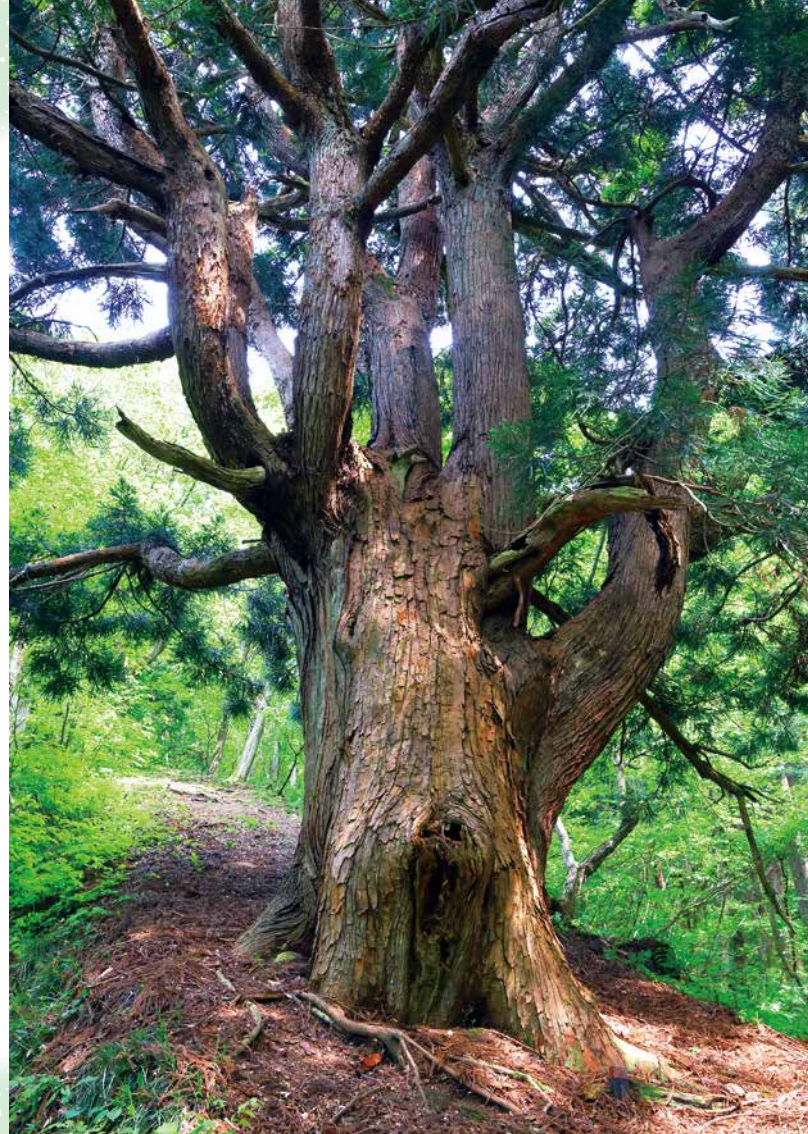
街のシンボリックな大平山。登山コースからは奥羽の山々、仙北平野、大曲市街地が一望できるほか、巨木群、三十三観音など趣の異なるコースも楽しめる憩いの山です。



巨木



「幸せの四本杉」の呼び名がある杉巨木は参道沿いに佇む



「ばっけ杉」は1本の大木から幾重にも幹が分かれ、さらに枝分かれをしている迫力のある樹姿



苔むした観音様が点在する杉巨木の薬師神社参道

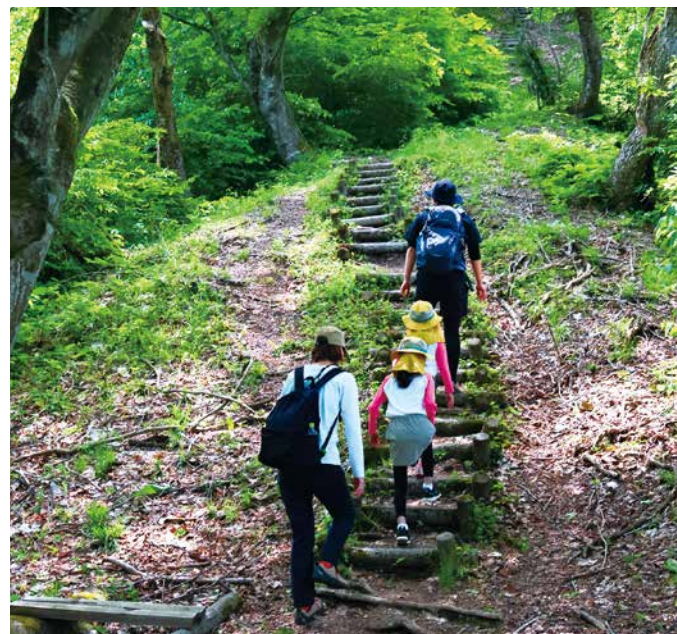


薬師神社拝殿

龍の上に如来様が安置されている薬師堂如来水



奥羽の山々と仙北平野の眺望が美しい



擬木の階段が数カ所あり歩きやすい



大曲・神岡境界分岐の標柱と林立する杉巨木

眺望、巨木、石仏を楽しむ里山

大平山（別称／姫神山）は大仙市大曲市街の西、雄物川と玉川の合流点付近に位置し、神宮寺岳や伊豆山が連なり、古来から信仰の対象となっている聖地です。その釣鐘型の山容は仙北平野のどこからでも望まれる街のシンボリックな山であり、手軽な登山を楽しめる山として多くの市民や県内・外の山の愛好家に親しまれています。

大平山の中腹には、平安末期の創建と伝わる薬師神社が祀られ、その参道には西国三十三観音像が並び、林立する杉巨木とともに神秘的な雰囲気漂います。石仏巡りを楽しみながら神社参道を経て山頂に至るコースもお勧めです。

姫神公園から尾根筋をたどるコースはビューポイントも多く、季節ごとの山野草や新緑・紅葉が楽しめます。旧キャンプ場の蛭川登山口からのコースは大平山への最短コースで、姫神公園からのコースと合流し、そこから急勾配ではあるが良く整備された坂道を登ると「大曲・神岡境界」の分岐に至ります。分岐点から右に数百メートルで「ばっけ杉」に出会えます。ばっけ杉（お化け杉）は一見の価値がある巨木です。分岐から左に進むと眺望が大きく広がる尾根筋が続く、大曲市街を眼下に奥羽の山々や仙北平野を眺めながら山頂に至ります。

標高387.3mと低山ながら、眺望と歴史の道を楽しめる魅力にあふれる山です。

眺望



- 大曲ICより車で約10分で姫神公園登山口のある姫神公園へ。
- 蛭川登山口までは蛭川集落入口から2kmほどの舗装路と砂利道を行く。

木の魅力を味わいながら 木工製作を楽しめる施設

能代市技術開発センター 木の学校

秋田県北西部に位置する能代市は、古くから木材産業が盛んな地域であり、「木都能代」として県内外に知られています。

能代市木の学校は、木工品製作などを通じて市民に木の魅力を実感してもらい、木材産業の振興や「木都能代」の魅力発信につなげていくことをコンセプトとした施設です。市の指定管理を受けて平成25年度より能代木材産業連合会（木産連）が運営しています。

設立当初は能代市民と事業者を対象に発足した施設ですが、市民向けの木工教室は年々評判が評判を呼び、現在では市外からの申込者も受け入れていきます。

子どもから大人まで 木工を楽しめる施設

材料は主に秋田杉を使用し、5名の技能職員が指導にあたっています。毎月2日間開催される「木工教室」は募集定員が30名、大人が対象で毎回異なるテーマの木工品が用意され、キット化されているため気軽に製作することが出来ます。ベッドサイドテーブル、プランター、丸椅子、ティッシュボックスと小物入れ、お雛様の組み木など様々なものを月毎に製作します。



職員の指導で機械操作も安心。

「木工教室」以外にも自分の自由な時間に製作できる「木工自由製作」もあり、木工機械の使い方を教わったり、アドバイスを受けながら作りたい木工品を製作することも出来ます。（子ども・大人が対象）

幼稚園・小学校などの課外教室や高齢者のモノづくり、団体向けには「木工体験」を行っており、短時間で木工製作が楽しめるメニューが用意されています。

木の香に包まれて



小学校の木工体験。みんな夢中になって…



幼稚園の木工体験
木に触れて嬉々とする園児たち



募集定員を超すこともある人気の「木工教室」。



施設内には木工教室の生徒作品や見本品の展示コーナーを設けている。



ネットショッピングで販売中の木の学校オリジナルの木のおもちゃ「あきたつみき」



ネットショッピングで好評を得ている木の学校の製作品

多様なスタイルで木の学校を発信

木の学校では施設外へ出向いての木工体験を実施したり、個人や企業向けにオリジナル製品、記念品、ノベルティ品などの受注も行っています。また、木工教室で製作した作品を「秋田からの贈り物」という名前の店でヤフーネットショッピングを通じて販売し好評を得ています。

SNSの活用で来館者が増加

令和元年度からの5年間の来館者数は好調に推移しており、令和4年度は初めて2000人を突破、翌5年度はさらに増加、木工教室への申込は定員の2〜3倍になることもありました。この好調の背景には申込にSNS（インターネット交流サイト）を取り入

れたことにありました。木工教室ではハガキかSNSいずれかで申込を受け付けますが、SNSでの申込は年々ハイクラスで増加して令和6年7月では申込の8割を越えました。そのうちの半数近くが市外からの申込でした。市外からも多くの人が訪れ、地域の活性化にもつながりました。

また、アンケートで利用者の意見や感想を吸い上げるなど、利用者目線に徹した運営で裾野が広がっているようです。

様々なアイデアで、木の魅力・木都能代の魅力を発信している木の学校。全国的に木育活動が広がる中、ますます利用者が増えていきそうです。

能代市技術開発センター
木の学校



研修棟

〒016-0171 能代市河戸川字南西山18-19
TEL0185-52-5249 FAX0185-88-8829
<https://kino-gakkou.com>

開館時間／午前8時～午後4時半
機械利用時間／午前8時30分～午後4時
休館日／第2・4・5日曜日、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）
利用料金／施設内見学は無料
各種機械は問合せ
＊木工教室は広報のしろ・HP・SNSで募集
料金は問合せ ＊木工体験・木工自由製作は随時受付（要予約） 料金は問合せ



緑とともに育つ・育てる

《緑育REPORT》

大仙市立 南外中学校

美しい自然に恵まれた秋田県では、古くから学校林等を中心にした森林環境教育が盛んです。緑にふれることによって、子どもたちの環境への理解が深まるとともに、豊かな人間性を育む……そんなすばらしい教育活動を実践している学校を紹介するシリーズです。

南外中学校は昭和51年旧外小友中学校と旧南橋岡中学校との統合により開校し来年度で創立50周年を迎える学校です。周囲は出羽丘陵に囲まれた美しい自然環境に恵まれています。

また、楢岡焼きの陶芸、有形民俗文化財に指定されている「秋田南外の仕事着」など歴史と伝統がある地域でもありません。豊かな自然環境と学校教育に協力的で理解のある地域や保護者の下で「行學一體」の校訓の下日々勉学に励んでいます。

学校環境緑化モデル事業

南外中では少子化の影響を受け現在使用されなくなっている旧テニスコート（10面）を今後どの様に活用していったら良いのかを検討する中、浮かび上がった案が地域の方々も対象とした桜の咲く「憩いの場」の創出でした。

この構想を実現

するために（公社）国土緑化推進機構の学校環境緑化モデル事業に申請したところ採択され、令和6年5月30日に記念式典とサクラ（ジンダイアケボノ）20本の植栽を行いました。

参加者は全校生徒40人、教職員、関係者等総勢66人です。当日は五月晴れで天候にも恵まれ絶好の植栽日和でした。生徒たちの感想は「みんなと協力して桜の木を植えることができた。これから地域の緑を大切にしたい。（1年生）」、「自分たちの手で緑を増やせて良かった。また、自然の大切さについて、あらためて考えることができた。（3年生）」など緑化意識が大いに高まる一日となりました。

南外中学校 学校環境緑化モデル事業	
この学校環境緑化モデル事業は、校庭に木を植えたり、木の入れをしたりして、学校の緑を増やす公益社団法人国土緑化推進機構からの助成金により行っています。	
この助成金は、全国のローソンのお店にある「緑の募金箱」にお客様からいただいた、たくさん募金で成り立っています。	
【植えた木の名前と本数】	サクラ（ジンダイアケボノ） 20本
	令和6年5月30日

桜で「憩いの場」創り



晴天に恵まれ、皆の協力で植栽した。



花が咲くのを楽しみに…



全県大会開催など輝かしい歴史を持つテニスコート跡地に植栽



樹木が語る緑化活動

校地の一面に校訓「行學一體」の石碑があり、その周辺にはサクラ、ヤマモミジ、ベニバナヤマボウシ等の樹木が生い茂り緑豊かな空間を作っています。

その中に平成16年度緑の募金事業「記念の森造成植樹」（秋田県緑化推進委員会の看板があり、傍にはアオダモの木が植わっています。これは第70回全県少年野球大会優勝を記念して植樹されたもので、野球のバットがアオダモの木で作られることに由来しています。

また、平成9年度緑の募金記念の森造成事業「緑の少年団結成記念植樹」（秋田県緑化推進委員会）の標柱が立っており、樹木を育て、生徒の心を育んできた歴史が感じられる一画となっています。

南外中のふるさと教育

南外中では行政と地域の協力の下、充実した「ふるさと教育」を行っています。

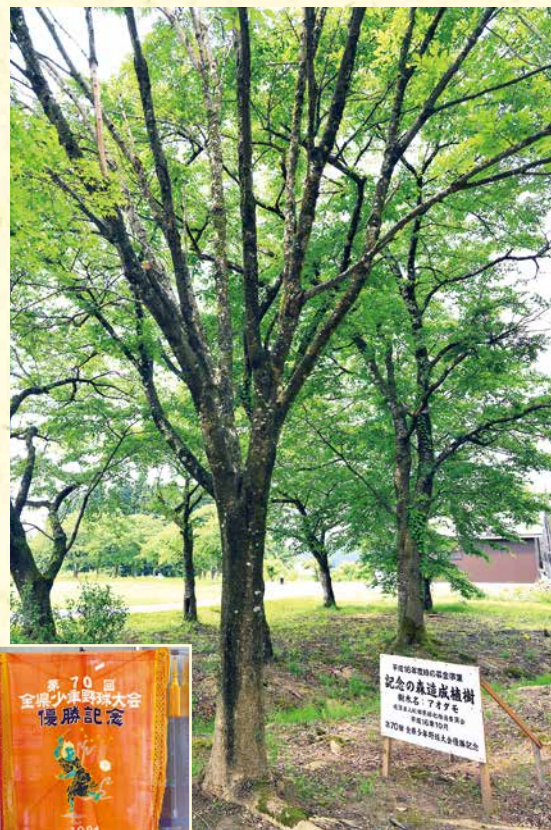
- ふるさとにかかわる体験活動を通して、そのよさを見付け、ふるさと南外を愛する生徒を育成する。
- 地域の人たちの交流を通して、地域の一員としての自覚を高め、人間としての生き方を学ぼうとする意欲をもった生徒の育成を図る。



「ふるさと教育」で野菜の植付を行う（収穫までの管理を行っている）

(3) 南外の自然や歴史・文化・産業等に触れ合う機会を充実させ、郷土の未来を担っていくとする生徒の育成を目指す。

これらの活動を通して、生徒達は緑化活動の必要性や自然環境の素晴らしさを体感し、郷土愛とともに豊かな人間性が育まれていくのです。



緑の少年団結成記念植樹の標柱



華やかな苞葉を付けたベニバナヤマボウシ

緑化の足跡——記念の森

全県少年野球大会優勝の記念植樹・アオダモの木は20年の時を経てスクスク生長している。

全県少年野球第70回大会優勝旗

トープ・木こりっこ

北秋田市

間伐材で作ったトーチ

今号では北秋田市内で地域に根ざした植樹活動を実施している森林ボランティア団体「トープ・木こりっこ」(現在の会員／30名)を紹介します。

北秋田市は秋田県の北部中央に位置し、県立自然公園に指定されている森吉山麓を中心に豊かな自然環境に恵まれた都市です。

ふるさとを森林を守り育てる

設立は令和元年で代表を務めるのは村岡典子さん。植樹活動を始めるきっかけとなったのは、平成20年7月に行われた全国植樹祭開催後、周辺の森林整備が促進されないことを残念に思い「まちなかトープ」の仲間と解決策を模索していたところ、秋田県緑化推進委員会の助成制度を知り、会を立ち上げました。

この会の運営は、事務局担当の工藤幹久氏はじめ森林に対する豊富な知識を持った会員や「まちなかトープ」の指と「まれ」他、様々な分野の方々が会員あるいはボランティアとして協力してくれることで成り立っています。

「トープ・木こりっこ」では、「子供たちへ繋ぐ森林の風」をキャッチフレーズに掲げ、身近な里山をフィールドに幅広い世代の参加者を対象に広葉樹植樹祭として植樹活動を行っています。

植樹体験は地域の豊かな自然を大人から子供へと伝え、それが子供たちの緑化意識を育み、地域の緑を守り育てることに繋がっていく「育みの場」でもあるとしています。

植樹地は秋田スギ伐採跡地などの荒廃したエリアが対象で、地域に自生する広葉樹を植樹して里山の再生を図っています。

広葉樹植樹祭は、秋田県緑化推進委員会の「市民グループ森林づくり活動支援事業」の助成金を活用しての活動です。

令和5年度は11月5日、北秋田市上杉(北欧の杜公園周辺)の市有林において開催しました。

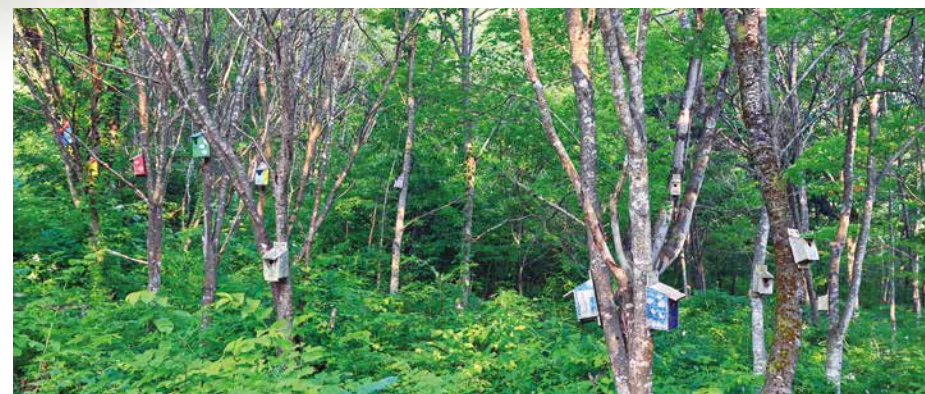
この日は参加者が指導員さんから教えてもらいながらヤマザクラの苗木30本を約5アールに植樹しました。例年100本以上の苗木を植樹してきましたが、こ



巣箱を受け取る
トープ・木こりっこ代表・村岡さん



巣箱を手にした「こども園・しゃろーむ」の園児たち



樹木に設置された愛らしい巣箱



巣箱製作と取付の様子／令和2年



植樹祭の後に記念撮影



緑に触れて生き生きする子供たち

指導員さんと一緒に家族で植樹



苗木の脇にメッセージを書いた標柱を立てた。



子供たちへ繋ぐ森林の風

植樹活動は令和5年で4年目になり、イベントとして定着しました。また、植樹や巣箱掛けの面積が年々広がり、森林の基盤が出来上がりました。これまで植樹された樹種は、ブナ、ナラ、クリ、ヤマザクラ、トチなどです。

けっして大規模な団体とはいえませんが「継続は力なり」をモットーに活動は確実に大人にも子供にも緑の大切さを植え付けているようです。

将来、子供たちが安心して遊び、楽しみながら学べる広葉樹の森林となることを目指して「トープ・木こりっこ」の活動は続いています。

INFORMATION

トープ・木こりっこ

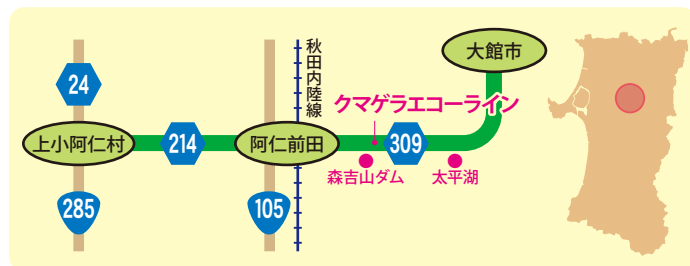
代表者 村岡 典子 連絡先 TEL 080-1835-4504

緑を楽しむ
ドライブ

くまげらエコーライン 北秋田市編

北秋田市・森吉山東麓のくまげらエコーライン沿いは豊かな自然が織り成す美しい景観が続くルートです。今回は秋田内陸線阿仁前田温泉駅を起点に森吉山ダム・森吉山四季美湖から太平洋までの見どころを巡るコースを特集しました。グリーンシャワーを存分に浴びながらリフレッシュしましょう！！

* 県道214号（上小阿仁村小沢田）を直進して接続する県道309号の終点（大館市比内町大葛）までを合わせ、「くまげらエコーライン」の愛称と呼ばれている。



東北一長い堤体 森吉山ダム & アウトドアも楽しめる 森吉山四季美湖



四季折々美しい四季美湖



「堤体のぼり」のイベントが開催されることもある長い堤体

森吉山ダムは東北一の堤体の長さ（786m）を誇るロックフィルダム（ダムの材料として岩石、砂利、土を使用するダム）で、ダム湖・森吉山四季美湖は周囲の山々の景観が美しい。四季美湖まつりなどのイベントも開かれる。森吉山ダム広報館は、ダムや地域の歴史文化を学ぶ学習施設。愛称は「しきみん」。ダム見学の受付のほかカヌー体験等のアクティビティの拠点となっている。館内には地元根森田集落の農家さんたちが運営する「喫茶ねもりだ」が併設し、地元食材にこだわったメニューを味わえる。

■秋田内陸線阿仁前田温泉駅より車で約10分 TEL0186-84-8590（森吉山ダム広報館／水曜日休館：9:00～16:00）※12月～3月は冬期休館



四季美湖畔公園はカヌーや釣り、バーベキューなどダム湖周辺を利用する水辺の広場



ダムのライトアップ・イベントが行われることもある

「ねもりだ」のダムカレーは根森田産のあきたこまち、地元産比内地鶏に森吉特産マルメロジャムが添えられた人気メニュー。
■5月～11月、土・日・祝日のみ営業。10:00～15:30



森吉山ダム広報館

14集落の神様に出会う場所 十四合同神社

ダム湖を渡る森吉山大橋の手前にあり、森吉山ダム建設に伴い移転された14の集落の神社の御神体や石碑を合同で祀っている。

■森吉山ダム広報館より車で約5分



様々な御不動様



集落ごとの特徴が見られる小祠



14集落の祠には御神体が納められている。

家族で大自然を満喫&本格アウトドア拠点

妖精の森コテージラウル

森吉山麓に位置し、北欧風コテージ、キャンプ場、バーベキューハウス、フィールドアスレチック、テニスコート等がある家族で楽しめる施設。



付近には森吉山登山口があり、本格的なアウトドアを楽しむ基地としても利用されている。

■阿仁前田温泉駅より車で約25分 TEL 0186-76-2107（妖精の森コテージラウル）

水と緑の景観に癒される道 くまげらエコーライン



四季美湖から太平洋へ向かう県道301号線沿いはグリーンシャワーが爽快なロード。清流と森が織り成すビューポイントが数多くある。太平洋手前、小又川上流の深山には秘湯・杣温泉がある。

■秋田内陸線阿仁前田温泉駅より車で約30分
TEL 0186-76-2311（杣温泉旅館）



道中の花にも癒される



江戸時代から続く名湯・杣温泉

湖上遊覧と秘境散策が楽しめる 太平洋



太平洋・湖上遊覧

森吉山ダムの完成によってできた周囲30km、面積195ha、深さ58mの人造湖。遊覧船利用で秘境・小又峡の散策を楽しめる。小又峡栈橋から三階の滝まで遊歩道が整備されている。

■阿仁前田温泉駅より太平洋グリーンハウス（チケット売り場）まで車で約50分
TEL 0186-76-2107（ぶなの郷あきた株式会社／妖精の森コテージラウル）



小又峡谷散策コースの一番奥にある「三階の滝」は家族連れでも訪れることができる。必見の価値あり。

立寄りスポット



北秋田市観光案内所
四季美館

特産品販売コーナー、レストラン、休憩スペース、貸し部屋（ホール）、体験伝承室（工芸・民俗）等がある施設。
■秋田内陸線阿仁前田温泉駅より徒歩10分 TEL 0186-75-3939



クウインズ森吉

温泉入浴、食事、宿泊ができる阿仁前田温泉駅の駅舎内施設。駅と温泉宿が併設している全国的にも珍しい施設。
TEL 0186-60-7000



森吉神社

森吉山前嶽の本社を奥宮とする里宮。力士像は見応えがある。御神体は田村將軍東征の時身につけてきた守護神。
■阿仁前田温泉駅より車で約4分
TEL 0186-73-2201

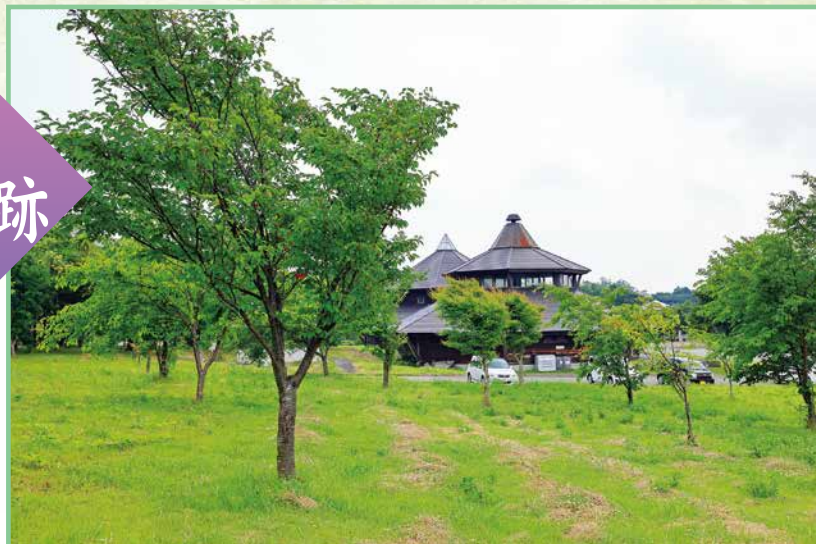


森吉山を背景に鉄橋を渡る秋田内陸線（阿仁前田温泉駅付近）

見どころMAP



あきた 緑化の足跡



キャンプ場内には植樹した樹木がスクスクと生育している。管理棟には宿泊スタッフが常駐しているのでキャンプ初心者でも安心。

平成16年5月24日

第55回秋田県植樹祭開催地——なまはげオートキャンプ場 《男鹿市北浦》

男鹿市北浦の「なまはげオートキャンプ場」において、第55回秋田県植樹祭が開催されました。

参加者は佐藤一誠男鹿市長（当時）他、1,800名です。植樹祭のメインテーマは「守ろうよ 森の緑と海の青」。式典で使用した円柱形の椅子はスギ間伐材を利用して製作されたもので、参加者に記念品としてプレゼントされました。

大漁旗が飾られた「大漁の森ブロック」など会場を7箇所に分けて植樹を実施、キジ20羽の記念放鳥も行われました。

植栽樹種はサツキ、コナラなど1,163本です。生育は良好でキャ

ンプ場内に潤いの空間をもたらしています。

なまはげオートキャンプ場は景勝地・入道崎や寒風山、なまはげ館や男鹿水族館GAOが車で20分以内の距離にあり、男鹿観光にも便利な立地となっています。70区画のオートキャンプサイトのほか、キャンピングカー専用のサイトやフリーサイト、コテージなど幅広いキャンプスタイルに対応したキャンプ場です。男鹿半島の観光と緑豊かなキャンプ場でアウトドア…どちらも楽しんでみてはいかがでしょうか。



Photograph この一枚

大仙市協和船岡字上宇津野にある旧豊島家の屋敷木で、枝が下垂するエドヒガンという桜の品種です。エドヒガンは長命な樹種ですが、目通り周囲が5メートルを越すような巨樹は大変珍しく、樹齢は400年以上と伝わり、秋田県内のシダレザクラとしては最大最古です。昭和28年に秋田県天然記念物に指定されています。

その昔、この大樹を中心に沿道の両側20メートルにわたり桜並木があったといわれ、花見客を魅了した往時の姿が偲べれます。また、豊島氏の先祖は代々名を「長兵衛」と襲名し、この桜に因んで「桜小路長兵衛」とも呼ばれたといわれています。樹勢が著しく衰えた時期がありましたが、治療により平成15年頃から再び花を咲かせるようになりました。

宇津野のシダレザクラ【大仙市】



JAS製材品は、品質・性能を明らかにして出荷された製材品です。この製品は、「日本農林規格等に関する法律」(JAS法)に基づき認証されたJAS工場で品質管理及び格付のための検査・試験を行い消費者の皆様提供されており、安心してお使いいただけます。

だから、安心です!!

品質・性能が明確!!

JAS製材品は

JAS

は
安心の証明マーク

木造建築物には、
JAS製材品を使いましょう。

お問い合わせは
秋田県木材産業協同組合連合会

〒010-0003 秋田県秋田市東通二丁目7-35
TEL 018-837-8091 / FAX 018-837-8093 / <http://a-mokuren.jp>

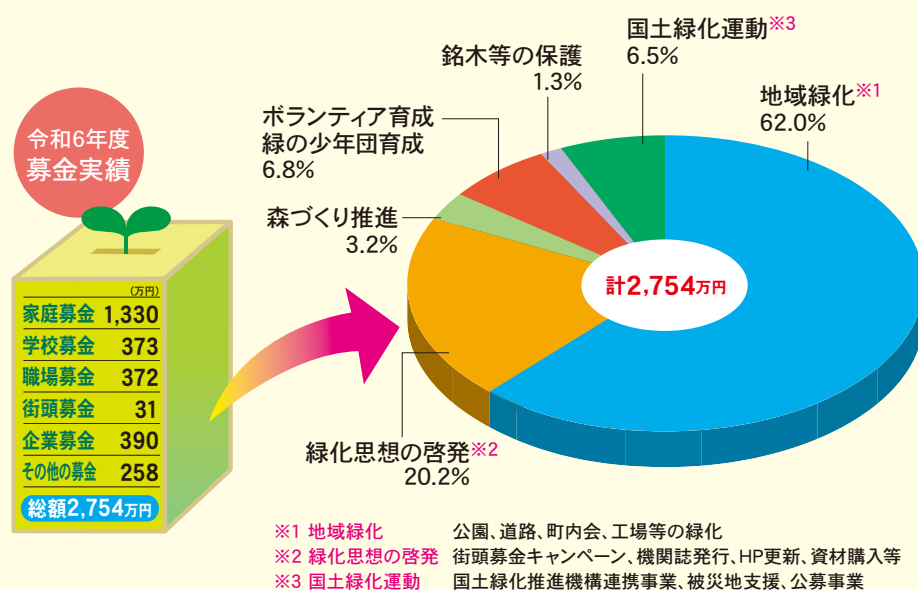
県緑化推進委員会の主な事業

【緑の募金】運動の推進 緑の募金運動を広く展開し、寄せられた善意を主な原資として次のような事業を推進しています。

- 地域緑化活動の推進
市町村等が行う緑化イベントへの支援
- 緑化思想の啓発
チラシ、看板、キャンペーン、機関誌発行、緑化関係表彰
- 県民参加の森づくり推進
森林祭等開催、市民グループ森づくり活動支援
- 森林ボランティア育成
ボランティア活動支援、リーダー養成
- 緑の少年団等育成
交流集会、学校緑化コンクール、学校緑化活動支援、子供木づかい体験
- 名木・古木等の保護
診断、調査の支援
- 国土緑化運動
国土緑化推進機構連携事業、緑と水の森林ファンド活用事業

※秋田県緑化推進委員会は、国土緑化推進機構・各都道府県緑化推進委員会と連携し、緑の募金による東日本大震災・熊本地震被災地のみどりの再生支援を行っています。

緑の募金は、このように活用されました！



ダイドードリンコ(株)では、環境貢献として飲料自動販売機による「緑の募金」活動に協力しております。

「緑の募金自販機設置」のお願い

新規設置の自動販売機が対象です。設置、ご紹介の協力をお願いします。

目印はこのパネル!!

この自動販売機の収益金の一部は、「緑の募金」に寄付されます。



もりのかぜ

Vol.16

編集・発行

令和6年8月31日(土)発行

公益社団法人 秋田県緑化推進委員会
 〒010-0941
 秋田市川尻町字大川尻170-169 森林環境会館内
 TEL 018-883-0815 FAX 018-883-0816
 [Eメール] akiryoku@estate.ocn.ne.jp
 URL http://akiryoku.ec-net.jp/

制作
 有限会社 パレア

〒010-0942 秋田市川尻大川町2-8
 TEL018-896-7225 FAX018-883-0004

編集後記

▼令和6年8月7日、令和9年度に開催される第50回全国育樹祭が秋田県で開催されるというニュースが飛び込んできた。節目となる50回目の全国育樹祭が、本県で開催されることは大変光栄なことである。全国育樹祭が本県で開催されるのは、昭和53年に仙北市(旧田沢湖町)で開催された第2回以降、2回目の開催となる。世界的に地球温暖化への対応が問題となっており、森林の果たす役割への期待と関心が高まっている状況の中、全国育樹祭を本県で開催することは、森林の大切さや木材利用についての理解をさらに深め、国土の保全や環境を守る意識の高揚に繋がる絶好の機会となる。ぜひ、森林・林業関係者だけでなく、オール秋田で大いに盛り上げ、この全国育樹祭を大成功に導きたいものである。(N.T)

もり
みんなが森林の応援団!!
緑の募金
 への協力と森林づくりへの参加をおねがいします。
 ■緑の募金は、地域の環境緑化活動や森づくり活動への支援に使われます。



いつでも どこでも 振込でも
募金強調期間

春季 4月10日～ 5月31日
 秋季 9月 1日～10月31日

実施主体／(公社) 秋田県緑化推進委員会
 市町村・市町村緑化推進委員会

緑の募金でふせごう地球温暖化

ふるさと秋田「水」と「緑」を体感する ―令和6年度秋田県緑の交流集会

「令和6年度 秋田県緑の交流集会」が7月23日(火) 秋田市岩見地区ほかで行われた。参加者は35名。これまで、8月11日の「山の日」に開催してきたが、今年は熱中症対策として7月に前倒しして開催されることになった。

午前中は紅葉の名所であり、岩見川上流にある岨谷峡(そうやきょう)を散策しながら笹舟づくりにも挑戦。午後には、秋田市雄和にあるファミリーキャンプ場に会場を移し、「飯盒での炊飯体験」、「樹木学習会」などを実施した。特に炊飯体験では、初めて体験する子ども達も多かったものの、子ども達全員が美味しいご飯を炊くことに成功した。

また、樹木学習会では、講師による楽しく分かりやすい樹木の学習を行うなど、充実した交流集会になったようだ。



美しいせせらぎを眺めながら散策

岨谷峡を散策



笹舟づくりに挑戦



飯盒で炊事体験



みんなで炊き出し



お見事!

樹木の勉強会



身近な樹木について学習



上手に炊けるかな?



飯盒で炊いた「ご飯」のカレーライス 格別おいしかったね。



笹舟や葉っぱのお面、森の遊びも楽しかった!

災害に強い安全安心な県土、安らぎの環境づくり 県土の保全で暮らしを守る



広域基幹林道「米代線」

当社は秋田県の森林土木事業を補完する機関として、森林の保全や林業生産の向上を図るための調査・研究、測量・設計等の業務を行っております。

第8回（令和4年度）
秋田県優良業務で知事より表彰



表彰業務 湯沢市柵内沢山地区、緊急機能強化・老朽化対策業務委託



CADによる設計



木製治山ダム工（オールウッド型）



ドローン活用



路網調査



一般社団法人 秋田県林業コンサルタント

〒010-0941 秋田市川尻町字大川反170-169
TEL. 018-865-1133 FAX. 018-865-1134
<http://www.akita-forest-con.or.jp/>